

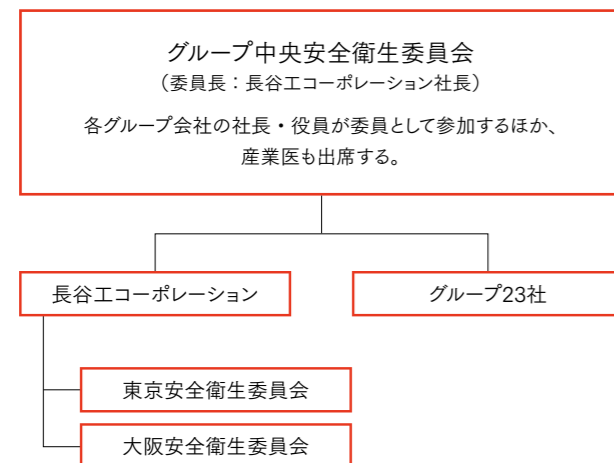
労働安全衛生

安全で快適な職場づくりのための体制

安全で快適な職場は、事業活動のすべてに優先します。長谷工グループでは、中央安全衛生委員会と各社安全衛生委員会が中核となり、安全で快適な職場づくりに継続して取り組んでいます。

2018年度は「広げよう快適職場、進めよう働き方改革」をスローガンとして掲げています。各事業場で労災事故撲滅のための取り組みを徹底するとともに、建設作業所では「働き方改革」の一環である長時間労働改善に向けて、一層の休日取得促進を図っています。「MOST活動」とも連携し、グループ全体で組織的に取り組んでいきます。

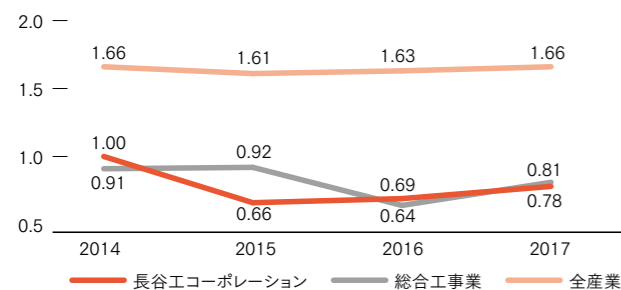
■ 長谷工グループの労働安全衛生推進体制



2017年度に発生した労災事故とその対応

2017年度は、死亡・重大事故災害「ゼロ」を目標に掲げておりましたが、長谷工コーポレーション新築作業所にて、死亡事故が1件発生しました。2018年度も引き続き、死亡・重大災害「ゼロ」を目標として、再発防止策を徹底していきます。

■ 労働災害度率



度率: 100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数、災害発生の頻度を表す。
[算出方法] 度率 = (労働災害による死傷者数 / 延べ実労働時間数) × 1,000,000

安全意識の啓発活動

長谷工グループでは毎年「安全衛生管理基本方針」を全社で定め、社員の意識啓発を進めています。2017年度は「掲げよう自らの健康目標、広げよう快適職場」をスローガンとし、快適な職場を作るための啓発活動、心身の健康促進・予防の強化、禁煙活動の強化などに取り組まれました。

労災事故目標「ゼロ」を実現するためには、社員一人ひとりが日常業務の中で安全を意識し行動する必要があります。そこで、社員の意識啓発を促すためのポスターや掲示板を積極的に活用しています。

また、各作業所においては、死亡・重大事故災害「ゼロ」はもとより、労働災害を限りなくゼロに近づけるために、ヒューマンエラーの発生する要因の排除を重点課題と定めて活動を行いました。

作業所における労災事故を撲滅させる上で効果的なのが所員や職方が「あらかじめ危険を体感」することです。長谷工コーポレーション・長谷工リフォームでは、「高所危険体感」「電気危険体感」「玉掛け作業危険体感」などのプログラムを組み込んだ「安全体感教育」を継続的に実施しています。この講習は協会の社員及び作業員に対して2005年から実施しており、2017年度は計7回、293名が受講。13年間の累計で実施回数は116回、受講者数は4,703名となりました。

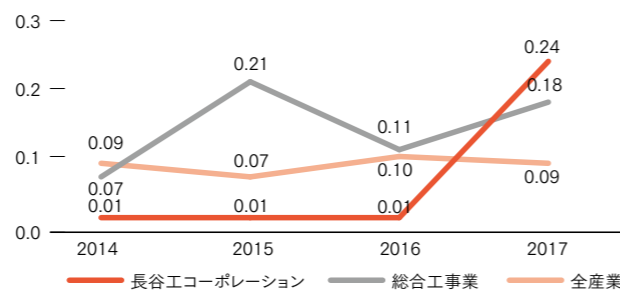
また、新入社員導入研修時には合同で「安全体感講習」を作業所で実施し、2017年度は長谷工コーポレーションから31名、長谷工リフォームから12名が参加しました。



「安全体感教育」の高所危険体感

長谷工コーポレーション・長谷工リフォーム合同の「安全体感講習」

■ 労働災害強度率



強度率: 1,000延べ実労働時間当たりの延べ労働損失日数、災害の重さの程度を表す。
[算出方法] 強度率 = (延べ労働損失日数 / 延べ実労働時間数) × 1,000

健康経営の推進

社員の健康に関する基本的な考え方

長谷工グループでは、2008年より「役職員の健康なくして成果なし」をスローガンに「健康 HASEKO 元気 PLAN」を推進し、役職員の心身の健康づくりを支援しています。

グループとしての健康への思いと方向性を示すために、2017年9月に「長谷工グループ健康宣言」を発信し、健康に対する会社方針を改めて内外に示しました。

長谷工グループ健康宣言

私たち長谷工グループは、「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する。」という企業理念を具現化していくために、もっとも大切な経営資源である全ての社員が心身ともに健康であり続け、一人ひとりがより活力を持って働くことのできるグループを目指して健康宣言します。

1. 健康への支援

会社は、社員の健康保持・増進に積極的に取り組み、社員の健康づくりを支援します。

2. 健康への責務

社員は自らの健康に責任を持ち、行動と努力を続けていくものとします。

3. 健康な未来へ

自分たちの未来は自分たちの手で切り拓いていくものです。長谷工グループの未来をつないでいくために、健康第一を念頭に、力をあわせて頑張っていきましょう。

2017年9月15日
株式会社長谷工コーポレーション
代表取締役社長 辻 範明

健康経営推進体制

長谷工グループ健康宣言のもと、2018年度より「長谷工グループ健康経営推進委員会（委員長: 長谷工コーポレーション社長、委員: 各グループ会社の社長・産業医・労働組合、事務局: 人事部・長谷工ウェルセンター福利厚生部・健康保険組合）」を設置し、社員の健康保持・増進に関する全社方針・目標・計画・進捗に関する意思決定・情報共有を行っています。

「ホワイト500」に認定されました

長谷工コーポレーションとその関係会社は、「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として経済産業省と日本健康会議が主催する「健康経営優良法人2018（大規模法人部門）」（通称: ホワイト500）に認定されました。



体の健康を守るために

社員の健康管理と疾病予防の拠点である企業内診療所「HASEKO CLINIC」が中心となって、健康診断や外来を通じて病気の早期発見に努めています。クリニックには病院並みの精密機器を有しており、正確で迅速な検査を行うことができます。健康診断の結果を受けて、必要に応じて生活習慣の改善や食事のアドバイス等の保健指導、外部の病院の紹介を行います。



また、各種健康セミナーを実施し、生活習慣病予防のためのアドバイスをを行います。

心の健康を守るために

ストレスチェックをはじめ、カウンセリングから復職支援まで、心の健康を保つためのケア体制と、発症してしまった場合のバックアップ体制を整えています。

具体的には、外部専門機関のカウンセリングや電話相談による「セルフケア」、管理者向けの定期的な講習で部下のメンタル疾患予防の教育・啓発を行う「ラインケア」、産業医・人事部門を含めたサポートチームで会社として復職を全面的にバックアップする「復職支援プログラム」を整備しています。

福利厚生制度・施設の充実(リフレッシュ)

心身の健康を維持するためには、趣味や仲間を広げたり、リフレッシュする機会も大切だと長谷工グループでは考えています。そのため、直営保養所を運営するほか、契約保養所・リゾートマンションを社員に紹介し、活用を促しています。

また、グループ社員が参加できる「長谷工クラブ」では、様々なクラブが体育・文化活動を通じたリフレッシュの機会を提供しています。